

運動公園再整備構想策定業務

特記仕様書

網 走 市

運動公園再整備構想策定業務 特記仕様書

1. 履行期間 契約日～令和8年3月23日までとする。

2. 業務の目的

「スポーツ基本計画（平成29年3月文部科学省）」においては、ストックの適正化と安全で多様なスポーツ環境の持続的な確保を目指すこととしている。

本市においては、網走市公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の総量の縮小や既存ストックの利活用、施設の老朽化とスポーツ施設ニーズの変化に対応し施設ストックの適正化を図る必要がある。

本業務は、網走運動公園内施設を対象に、現状把握と関係機関との協議のもと、施設の維持・統合・移転・廃止等の方針を検討し、「（仮称）網走運動公園再整備構想」として取りまとめるものである。

3. 検討対象施設

<対象施設>

フィールド名	施設名	建物名
網走運動公園	総合体育館	（同左）
	市営野球場	ダッグアウト
	市民健康プール	（同左）
	すぱーく網走	（同左）
	パークゴルフ場	
	市営陸上競技場	管理棟
	公園遊具	

注：記載のほかトイレ・倉庫・東屋等は検討対象外とする。

4. 業務の内容

(1) スポーツ施設の概況把握

①スポーツ施設を取り巻く自治体情勢

- ・市の人口や財政状況の現状
- ・市内と近隣自治体におけるスポーツ施設の配置状況
- ・スポーツ大会等の開催状況

②上位計画・関連計画の整理

- ・本計画の位置づけ整理
- ・国や北海道におけるスポーツ施設に関する方針の整理
- ・市の「網走市総合計画」「社会教育長期計画」「公共施設等総合管理計画」等におけるスポーツ施設等に関する方針の整理

(2) 網走運動公園施設等の現状把握

①市有スポーツ施設の情報整理

- ・公有資産台帳または公共施設等総合管理計画の検討資料などの既存資料に基づき、網走市が所有するスポーツ施設の情報を収集し、一覧表として情報整理する。
- ・必要に応じて担当課への照会を行い、情報の補足を行う。

②検討対象建物の健全性の把握

- ・網走運動公園内のスポーツ施設建物を対象に、劣化状況調査を実施する。
- ・運動公園内のトイレ・倉庫等の小規模建物は調査対象から除く。また、統合対象として検討すべき運動公園外施設（１～２棟と想定）については、発注者と協議のうえ対象に追加する。
- ・建築スタッフによる目視調査を実施し、建物の部位（屋根・外壁・内部仕上げ・電気設備・機械（給排水・暖房など）設備）ごとの劣化状況を把握する。

③検討対象施設の利用状況等の把握

- ・担当課を通じた利用実績データの収集・集計のほか、施設管理者へのヒアリング等により施設利用状況や運営上の課題などを把握する。

(3) 運動公園内施設の対策検討

①運動公園内施設の評価

- ・施設の劣化状況、今後のスポーツ施設の役割、住民ニーズ等を総合的に勘案して施設の評価を行い、今後とも機能を維持すべき施設や廃止すべき施設など施設の方向性を分類する。

②各施設の活用方針の検討

- ・施設ごとに、改修、建て替え、統合新設、用途転用、移転、解体など今後の活用方針を設定する。
- ・建て替えや統合新設などの場合は、施設規模の検討を行う。

③運動公園再整備構想（案）の検討

- ・運動公園の再整備について、事業スケジュール・概算事業費・施設配置案

を検討する。

(4) 協議会の運営支援

- ・ 市内関係部署およびスポーツ関係団体等による検討組織（協議会）の運営支援を行う。運営支援の内容は、再整備構想の検討に関する会議資料の作成、資料説明とする。
- ・ なお、協議会は業務期間内に4回実施するものとする。

(5) 検討成果の取りまとめ

- ・ 検討成果を「（仮称）網走運動公園再整備構想」として取りまとめる。

(6) 打合せ協議

業務担当者との打合せ協議は5回（着手時・中間×3・完了前）実施するものとする。

中間打合せは「（2）網走運動公園施設等の現状把握」「（4）協議会の運営支援」と併せて実施することとする。

5. 成果品

- | | |
|-------------------------|-----|
| ・ 網走運動公園再整備構想（A4版、簡易製本） | 15部 |
| ・ 業務成果の電子データ | 一式 |

位置図



(地理院タイルに図示を追記して掲載)